

本日の  
プログラム

## 札幌商工会議所SDGs経営表彰について

札幌商工会議所 会員組織部部長 田邊 敦 氏

### 22世紀に輝く中小企業に最適な100のひみつ道具を集めて・届ける

#### マッチボックス(株) 代表取締役 室田涼夏 氏

私は、宮城県仙台市出身の20才です。育ちは沖縄・東京・札幌です。札幌に小学校6年生の3学期に引越して参りました。その後、中島中学校に入学し生徒会役員を務めました。

高校は新設される「探究コース」に興味があり札幌新陽高等学校に入学しました。探究コースとは、次世代のリーダーを育てることを目的としています。自ら課題を見つけ解決するための情報を分析し、他者と協力しあい、日々の授業に取り組んでいくコースです。私は高校3年間で、ビジネスコンテスト等に出場し、ビジネスマッチングを学びました。

大学は、学生全員が在学中に起業するというカリキュラムが組まれている情報経営イノベーション専門職大学へ進学しようと考えておりましたが、同校を受験し特待生として合格しましたが、私の家は裕福でなかったため、大学進学について迷っておりました。その際に高校でキャリアガイダンスの機会があり、税理士法人マッチポイント 小島税理士と出会いました。高校のキャリアガイダンスに、税理士の方がいらっしゃることは珍しいと思いました。税理士事務所とはどんな仕事をしているのか知らなかったこともあり、税理士業界の現状やどんな人が税理士に向いているのかを説明いただきました。その中で、“起業を目指す人は一度、税理士事務所で働いてみるとよい”・“税理士事務所には、起業するためのノウハウが詰まっている”と聞き、私は、起業する方法を大学で学ばなければと思っておりましたが、大学で起業を学ばなくとも、税理士事務所に就職して、お金を貰いながら、起業

のノウハウを学んでいく方がよいと考えました。それから税理士法人マッチポイントの求人欄を見たところ、中途採用のみの応募でした。私は新卒採用希望として、職務経歴欄が真っ白な履歴書を送りました。後日、面接のその場で採用していただきました。社会人一年目は、総務と会計を務めておりましたが、分からないことだらけでした。しかし、税理士業界の一年の流れや、税理士事務所の職員が、日々どのような働きをしているのかを理解することができました。

社会人二年目となり、営業の会社を設立することとなりました。一年間税理士事務所の職員として働き、税理士事務所には中小企業にとって有益な情報が集積していることを知りました。ところが、現状はその情報を必要な企業に届けられていませんでした。今後は税理士事務所の強みである、経営者との定期的な接点を保ち・会社の財務内容や事業内容・個人資産等を理解した上で、有益な情報を収集し、的確なアドバイスを中小企業に届けていきたいと考えております。ご清聴いただきありがとうございます。

